

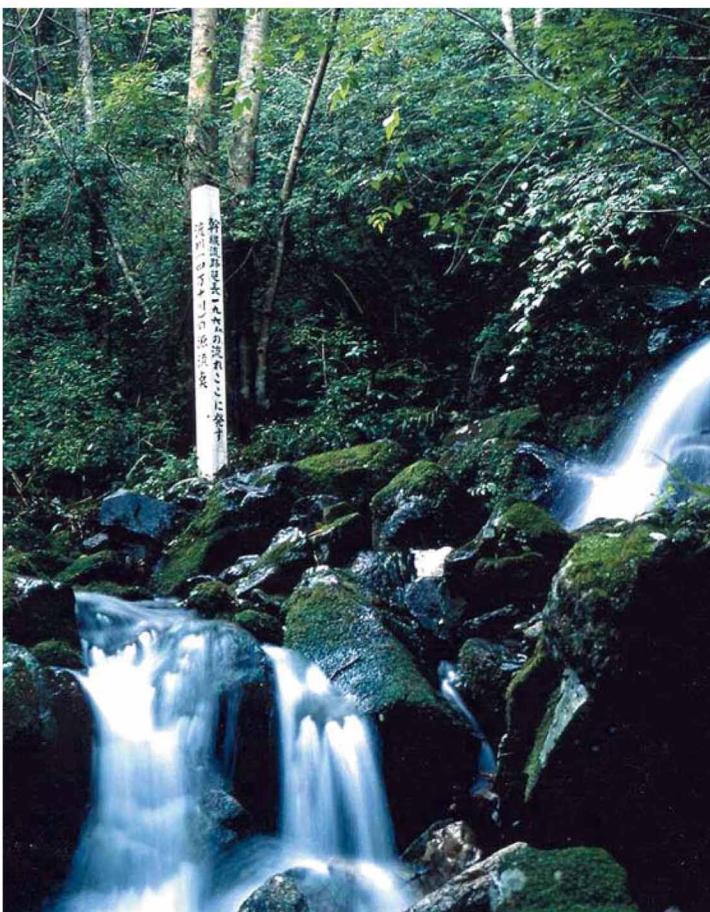
津野町

清流と風と歴史に会えるまち

津野町は、高知県の中西部に位置する面積

198.22平方キロメートルの山間の町。四

国山地に抱えられた地域は急峻で、町の約90%を山林が占め、東部を清流「新庄川」が、東に中央部を清流「四万十川」の本流が南に、西部を北川川が南西方向に流れとの地域も川沿いに集落が点在している。比較的温暖な気候だが、西部山間部地域では、冬季には60センチほどの積雪がある。



四万十川 源流点

【問い合わせ先】

津野町 産業建設課 TEL0889-55-2021

清流のある町

いわすと知れた全長約197キロメートルにも及ぶ日本最後の清流と呼ばれる「四万十川」。何かの偶然か河口の旧・中村市(現・四万十市)同様、この地の字名も船戸・中村といい、中村に始まり中村から太平洋へと源流の一滴がここから注がれる。



風を感じる町
標高1,000メートル以上の尾根が連なり、緑豊かな草原の中に、まるで羊の群れのようなカレンブルトやドリーネといった雑地など、独特の景観を見せる四国カルスト。

その東端に位置する天狗森(標高1,485メートル)の眼下に広がる高原。春は新緑、夏は高山植物、秋はスキや紅葉、冬は雪景色など四季折々の景観が楽しめる。



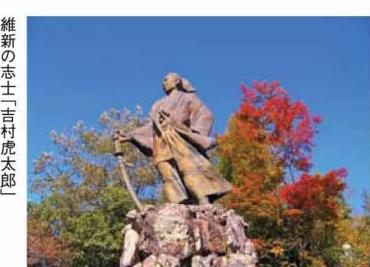
北山の風車

緑の山々の上にすくと立った白亜の巨大な風力発電施設20基がシユールな景観を醸し出している。羽根の直径は61メートル、タワーの高さは68メートル。平成18年春から民間事業者が稼働を開始。この北山の風車を間近に体感できるのが「風の里公園」。約4キロメートルの公園内には、「展望ゾーン」「風の広場」「森林浴の森」などが整備されており、天気の良い日には、風車はもちろんのこと、不入山や四国カルスト天狗高原、遠くは石鎧山や室戸岬まで見渡すことができる。

歴史に会える町

維新のために活躍した志士たちは津野町からも数多く輩出されている。中でも吉村虎太郎は2度の脱藩

を繰り返し、27歳の若さで戦死した。土佐藩脱藩第1号といわれ、明治維新の魁となつた。彼の銅像は、津野町役場西庁舎近くの高台にある。



【問い合わせ先】

津野町 教育委員会 TEL0889-62-2258

DATA

総人口	6,650人
世帯数	2,764世帯
面積	198.22km ²
人口密度	33.55人/km ²

